



核兵器のない世界の実現へ ともに行動しよう

核兵器禁止条約に日本は参加を

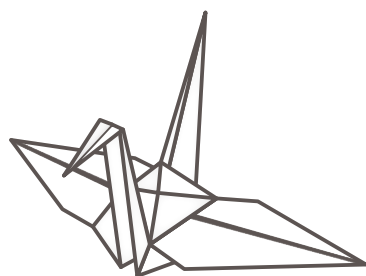
9月20日(ニューヨーク現地時間)、核兵器禁止条約への署名が始まりました。今年7月7日に、122か国が賛成して国連で採択されたこの条約は、「核兵器のない世界」の実現へ扉を開く歴史的な条約です。

禁止条約は、核兵器を持つことも、使うことも、核兵器で脅すことも禁止しました。核兵器を受け取ったり与えたりすること、核兵器を自国の領域内に置くことを許すことも禁じました。

禁止条約は、批准した国が50か国に達してから90日後に発効します。残念ながら日本政府は条約に署名しないと明言しています。被爆国の市民1人ひとりが声をあげ、条約への参加を求めるときです。

核兵器禁止条約採択の賛否 (2017年7月7日)

賛成	反対	棄権
122	1	1



北朝鮮の核・ミサイルは平和的解決を

北朝鮮は核実験を強行し、弾道ミサイル発射を繰り返しています。「核兵器のない世界」に向かう世界の流れに逆行し、アジアの平和を脅かすもので、許されません。

しかし、北朝鮮の核・ミサイル開発に対して、米国トランプ政権のように軍事的圧力を強め、日本がそれに依存しては解決しません。9月11日に国連安保理が全会一致で採択した決議では、対話と平和的解決が必要だとされました。

世界の圧倒的多数の国々は、自国の安全を核兵器に頼ることを拒否し、核兵器禁止・廃絶へすすんでいます。東アジアで、核兵器禁止条約の交渉に反対したのは、日本と韓国だけです。

被爆国日本が、平和外交と核兵器禁止に大きく舵を切るべきです。



「ヒバクシャ国際署名」をあなたも

72年前、広島と長崎で原爆投下の惨禍を体験した被爆者のみなさんは、すべての国に対して核兵器禁止条約の締結を求める「ヒバクシャ国際署名」をよびかけています。今年6月の核兵器禁止条約交渉会議には、約300万筆が届けられ、条約採択の大きな力になりました。

核兵器禁止条約に加わる日本をつくるには、多くの市民が声をあげ行動することがとめられます。ぜひ、あなたも、「ヒバクシャ国際署名」にサインしてください。

